

○ **I R 実施法案関係**

- ・ 2018年2月14日 I R 実施法案成立に向けた国際観光産業振興議員連盟総会開催
- ・ 2018年3月頃 I R 実施法案 上程見込み

○ **ギャンブル等依存症対策関係**

- ・ 先の特別国会（2017年11月1日～12月9日）において各党議員から法律案が国会に提出され、継続審議となっている。

【衆議院】

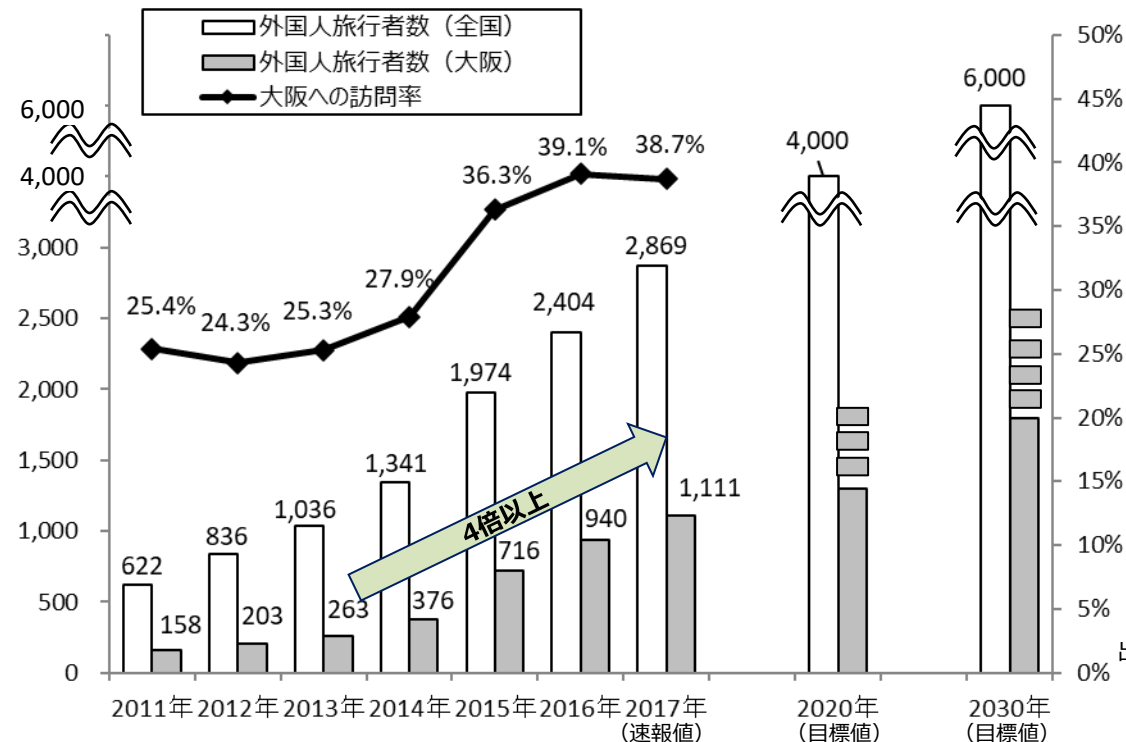
2018年1月22日 内閣委員会付託

■ 日本経済のさらなる成長に向けたIR早期開業の必要性について

- 1月に発表された2017年の外国人旅行者数（速報値）は、全国2,869万人、大阪1,111万人といずれも過去最高
- 2020年五輪後も切れ目のない成長・「観光先進国」日本の実現をめざして
 - 国際競争に勝つための世界水準 MICE施設の実現
 - インバウンド増加を確実に経済成長に取り込む観光戦略の確立
- 政府目標の訪日外国人旅行者数（2020年：4,000万人、2030年：6,000万人）実現に向けて大阪・関西の果たすべき役割は大
 - 大阪の外国人旅行者数は大阪観光局が設立された2013年 から2017年 で4倍以上に急増
 - 現状で訪日客の約4割が来阪しており、今後も大阪・関西がけん引役に

（単位：万人）

＜外国人旅行者数（大阪・全国）の推移＞



政府目標の実現に向けて、
新たな観光資源の創出が求められる

⇒ **IRの誘致が必要**

出典：JNTO「訪日外客数」
大阪観光局ホームページ「プレスリリース」（JNTO「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに推計）

○ **IRによる効果**

- IRを核とした国際観光拠点が地域経済にもたらす様々な波及効果
 - ・ 毎年の経済効果6,900億円、雇用創出効果8.3万人（共に近畿圏）
- ビジネスチャンスの拡大、世界のビジネス都市へ
 - ・ 世界水準のMICE施設がビジネス基盤を強化し、イノベーションや新産業の創出につながるとともに大阪・関西の強みを世界に発信
- 交通ネットワーク整備の誘発
 - ・ 地下鉄中央線延伸、JR桜島線延伸、京阪中之島線延伸など
 - ・ 関西・伊丹・神戸の3空港の機能強化と連携拡大
 - ・ 大阪湾内高速艇や瀬戸内クルーズなど海路の整備促進



日本の経済成長と「観光先進国」日本の実現のため、早期のIR開業が必要

⇒ 法整備をはじめ、速やかな法施行、区域認定を強く要望